

## 令和6年度 市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和6年11月24日（日）午後3時～午後4時

開催場所：オンライン（Zoom）

出席者：2名

### 《意見交換》

- 1 長兎路地区の市道拡幅について
- 2 茨城中央工業団地（笠間地区）の整備について
- 3 柏井地区の通学路について
- 4 新清掃施設の整備計画について
- 5 新清掃施設整備の目途について
- 6 新清掃施設の規模について
- 7 バイオガス発電の併設施設のコストについて
- 8 ごみ焼却に伴う余剰熱源の利用について
- 9 旧畜産試験場跡地の活用について

### 1 長兎路地区の市道拡幅について

#### 【意見等】

長兎路地区の二所神社前から旭町に抜ける市道を拡幅してほしい。仁古田地区の住民の通り抜けも多く、安全な通学路として小学校への近道にもなることから、片側だけでも歩道を整備してほしい。

#### 【回答】

地域の開発状況や周辺の交通状況等を考慮し、優先順位を考えながら検討していく。

### 2 茨城中央工業団地（笠間地区）の整備について

#### 【意見等】

茨城中央工業団地（笠間地区）付近を流れる枝折川の両岸が公園用地になっており、調整池もあるが、洪水調整ダムを整備できないか。

#### 【回答】

茨城中央工業団地（笠間地区）の緑地帯の活用については、県と調整しながら今後検討していきたいが、既に整備を完了している部分の土地を河川より下げることや緑地帯にダムの機能をもたせることは難しいと考えている。

### 3 柏井地区の通学路について

#### 【意見等】

茨城中央工業団地（笠間地区）が造成される前は、柏井地区から北川根小学校まで工業団地内を斜めに直線で通れる道路があったが、造成後には通学路の距離が長くなってしまった。友部サービスエリア付近の細い道路を整備することで、小学校までの通学路が短くなるよう検討してほしい。

#### 【回答】

通学路は、安全性を重視して学校が中心となり地域で決めているほか、地域・学校・警察・道路管理

者・市は毎年通学路の安全確認を行っている。その中で、今の通学路が良いと判断している。

#### 4 新清掃施設の整備計画について

##### 【意見等】

新清掃施設の整備計画はどのような状況か。

##### 【回答】

現在、2つの方式の検討をしているが、結論が出ていないことから、第1回の住民説明会后、第2回の住民説明会ができていない状況。生ごみも含めたすべての可燃ごみを一括で焼却する方式と生ごみを自動分別してバイオガス発電施設を併設する最新の方式の2案を検討している。これまで市の内部で検討したところ、環境への配慮、ごみの減量、発電能力などの理由からバイオガス発電方式が良いだろうと考えているが、同時に市議会では調査特別委員会を設置して2つの方式やその他の議論を30回程度行っている。また、バイオガス発電施設の案に対する理解がまだ深まっておらず地元での説明会では反対の声も出ている状況である。

#### 5 新清掃施設整備の目途について

##### 【意見等】

現在の施設の耐用年数などの問題もあると思うが、いつまでに結論を出すのか。長期間の公共事業は物価変動で当初予算よりも大幅に費用増加が見込まれるが、やらない訳にはいかない事業のため、結論を出すようお願いしたい。

##### 【回答】

令和2年に議論をスタートしてから当初は令和10年に建替える予定であった。物価高騰などの社会的影響もあり、2年間期間を延長して令和12年中の完成をめざしているが、当初の倍以上の建設費用がかかると試算されている。国の支援制度が変わる可能性もあり、国の補助金を最大限活用しながら、なるべく早く方向性を出して進めていきたい。人口減少により、ごみの量が減ることも想定されるため、いつ時点の人口で施設の規模を位置付けるかが課題となっている。新しい施設が完成するまでは「ゆかいふれあいセンター」も継続する。

#### 6 新清掃施設の規模について

##### 【意見等】

国の試算では、令和32年に笠間市の人口は49,917人まで減るとの予測があり、比例して可燃ごみも相当減るはず。どの程度の規模で施設を造るべきか予測するのは難しく、近隣市町村で数年前にできた清掃施設は、大きなものを造りすぎた印象がある。笠間市では無駄にならない適正な施設を設計してほしい。

##### 【回答】

新施設が完成したタイミングで笠間市でもプラスチックごみを分別して収集する予定であり、全体のごみの量は減る見込み。人口減少による影響も考慮し、施設規模の見直しを行っており、結論が出れば全市的に住民説明を行っていく予定。

## 7 バイオガス発電の併設施設のコストについて

### 【意見等】

バイオガス発電併設施設のコストを教えてください。

### 【回答】

バイオガス発電の併設施設の方が建設予算は高くなるが、焼却施設のみの整備と比較すると国の補助金が大きいため市の持ち出しが少なくなる見込み。ランニングコストは同程度。いずれにしても地元の理解を得る必要があり、施設見学などを行いながら、議論を進めていきたい。

## 8 ごみ焼却に伴う余剰熱源の利用について

### 【意見等】

ごみ焼却に伴う余剰熱源を利用した温水プール等の整備に関する市の考えは。

### 【回答】

現在稼働している「ゆかいふれあいセンター」のプールは、新清掃施設が完成するまでは継続する予定だが、市内のさまざまな公共施設のあり方については、他の施設を含め全体で議論しており、その中でプールの位置付けも検討していく。施設の維持管理なども考慮し検討を進めているところであり、地元の要望を聞きながら進めていきたい。

## 9 旧畜産試験場跡地の活用について

### 【意見等】

旧畜産試験場跡地にできた笠間中央公園では親子が楽しく遊んでいる姿を見かけるが、未利用地に温水プールを整備することで高齢者も利用できる施設としてはどうか。また、「いこいの家はなさか」を移設することで、プールを併設した新たな施設としてはどうか。

### 【回答】

笠間中央公園の隣にある未利用地は約1haあり、プールを整備してほしいという意見があるなど、土地利用は課題となっている。一方で、友部公民館、社会福祉協議会、友部図書館などは老朽化しており、建替えや大規模修繕をすると財政的な大きな負担となる。それぞれの施設が分離していることで、管理費などの問題があり、各施設をまとめた複合施設としてはどうかという意見もある。笠間市では公民連携の条例を定めており、運営費を考慮すると、市単独で施設を維持管理していくことは市にとっても負担となる。複合施設の中に収益が上がる部分を設け、民間企業と連携することで収益の一部を運営費として賄うなどの手法を取り入れる自治体もあることから、どのような方法が良いかも含め、今後検討していきたい。